

千葉市立郷土博物館での調査 報告



12月5日(日)、歴史部会(中世分野)が市川市外に収蔵されている古文書調査を実施しました。この日は、千葉市立郷土博物館で原文書47点・富岡文書18点を閲覧することができました。両文書は、戦国時代の下総の実態を示す貴重な史料です。…例えば、閲覧した史料のひとつに「年不詳7月17日付 千葉胤富書状」というものがありました。この史料からは、戦国時代の江戸川(市川市)に戦争時に「船橋」が架けられていたことがわかりました。



講演会「市川と日蓮 一遺文・信仰・歴史」報告



10月9日(土)、講演会「市川と日蓮 一遺文・信仰・歴史」が、生涯学習センター2階のグリーンスタジオで開催されました。

当日は、中世の市川と日蓮の関わりから始まり、近世・近現代に至る日蓮宗の信仰や文化の広がりについて、3人の講師により講演されました。講演会は、好評のうちに終了しました。

当日会場の外では、多くの来場者が講演会開催に合わせたパネル資料の展示も熱心にご覧になっていました。また、講演会を挟んで2週間程の間、中央図書館の特集展示コーナーにおいて講演会の関連図書を展示しました。こちらもたくさんの方にご覧いただきました。

講師(講演順・写真上より)

湯浅 治久 (市立市川歴史博物館 学芸員)

「鎌倉時代の市川と日蓮—足跡・檀越・国府—」

西海 賢二 氏 (東京家政学院大学教授・市川市史編さん委員)

「日蓮宗の信仰と講集団—千葉の女人講から—」

安中 尚史 氏 (立正大学教授)

「日蓮が遺したもの—近世・近代の信仰と文化—」

※安中尚史氏の講演録を、『市史研究いちかわ』第2号に掲載予定です。『市史研究いちかわ』第2号の発売については、次号の『いちかわ市史編さんだより』や広報、HPでお知らせする予定です。お楽しみに！

